

医療AIシステムとアプリの連携と開発

医療AIシステムとスマートフォンアプリ開発との関連
で言えば、注意すべき点は中国ではiPhoneの占有率が非常に低いということである。中国では、医療AIシステムの多くはアプリと連動しているケースが多い。例えば、日本国内最大手の医療ベンチャーである株式会社メドレーが提供している「CLINICS」という遠隔診療システムは、iPhone, Androidの両方のアプリを用意している。中国で展開を考える、医療AIシステムを開発したい場合は、必然的にアプリ開発まで視野に入れる必要がある。

図表・21 iPhone 占有率のランキング

順位	国	iOS シェア	Android シェア
1 位	日本	68.60%	30.40%
2 位	オーストラリア	56.87%	40.07%
3 位	アメリカ	53.76%	45.17%
4 位	カナダ	52.08%	44.08%
5 位	イギリス	49.23%	46.45%
6 位	ニュージーランド	45.69%	53.02%
7 位	香港	40.16%	58.59%
8 位	フランス	34.98%	62.17%
9 位	シンガポール	33.10%	53.03%
10 位	中国	30.22%	68.99%

出所) StatCounter Mobile Market